

妊娠中に風疹抗体価検査を受けた患者さんへ
(臨床研究に関する情報)

現在、全国の産科施設において以下の臨床研究を予定しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 妊娠女性の風疹抗体保有状況

[研究機関] 本邦の産科施設（北海道大学病院，北里大学病院，成育医療研究センター，富山大学附属病院，日本医科大学多摩永山病院，自治医科大学病院）

[研究責任者] 水上 尚典 （北海道大学病院産科・科長）

[研究の目的]

妊娠中に風疹に罹患すると児に障害（先天性風疹症候群）が起こる場合があることが知られています。また、先天性風疹症候群児が出生した場合には保健所に届け出ることになっています。風疹は風疹の既往感染あるいは風疹ワクチンにより抗体が体内で産生されていると、罹患しにくいとされています。しかし、昨年より風疹流行が起こり、2012年から2013年6月までに12名もの先天性風疹症候群児が出生しています。この原因として抗体を保有している妊婦の割合が不十分である可能性があります。そこで、今回の研究は2008年1月1日～2012年12月31日の5年間に全国の産科施設で分娩した妊娠婦人の風疹抗体保有状況について検討することを目的としました。

[研究の方法]

● 対象となる方と利用する情報

2008年1月1日～2012年12月31日の5年間に分娩した妊娠婦人の妊娠中の風疹抗体価、風疹感染の有無ならびに妊娠の帰結（流産、早産、正期産等）

[個人情報の取り扱い]

私どもが利用する情報には、患者さんを直接同定できる個人情報は含まれていません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は含まれません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目
北海道大学病院産科 担当医師 水上 尚典
電話 011-706-6932 FAX 011-706-6932